

第3章 基本方針と施策の展開

1 めざすべき姿

「誰もが文化芸術に触れ、活動できる船橋」

本市では、文化芸術を取り巻く環境の変化や市民ニーズの多様化を踏まえ、文化芸術をより身近なものとし、誰もがその価値に触れ、親しむことができるまちを目指します。

そのためには、市民一人ひとりが文化芸術を鑑賞したり、参加したりしやすくするための機会を創出し、個人・団体・アーティストが継続的に創造・表現できる環境づくりが重要です。

こうした考えのもと、「誰もが文化芸術に触れ、活動できる船橋」をめざすべき姿として掲げ、文化芸術の振興を通じて、心の豊かさと地域の魅力が調和するまちの実現を目指します。

2 施策体系

本方針では、市民が文化芸術に出会い、活動し、その成果が地域へと広がっていく段階的な構造であると捉え、3つの基本目標を設定します。これにより、文化芸術の振興を体系的に推進します。

めざすべき姿

誰もが文化芸術に触れ、活動できる船橋

「めざすべき姿」の実現に向けた3つの基本目標

基本目標Ⅰ

文化芸術と出会うきっかけづくり

施策① 子どもも大人も鑑賞・体験できる機会の創出

施策② 情報の見える化と周知の強化

基本目標Ⅱ

文化芸術活動を支える基盤の充実

施策① 文化芸術の創造・発展につながる環境の整備

施策② 次世代の育成・多様性の尊重

基本目標Ⅲ

船橋の文化芸術・地域資源を活かした魅力づくり

施策① 地域の、音楽・アート・文化財等を通じた魅力の醸成

施策② 他分野と連携した施策の展開

3 基本目標と施策の展開

基本目標Ⅰ

文化芸術と出会うきっかけづくり

基本的な考え方(趣旨)

市民の誰もが文化芸術に触れ、自ら活動するきっかけや機会を拡充していきます。また、船橋市を拠点に活動しているアーティストや市内の文化芸術イベントを積極的にPRし、市民と文化芸術をつなげていきます。

現状と課題

1.文化芸術に触れるきっかけづくりが求められています

市民アンケート調査の結果から、本市では文化芸術への関心が78.7%、鑑賞率が86.3%、と文化芸術への高い関心・鑑賞状況が伺えます。

一方で、「文化芸術活動をしていない」と回答した人の理由は、「きっかけがない」が36.9%と最も多く、「情報が得られない」が16%となっています。そこで、より多くの市民が文化芸術に関心をもっていただけるよう、誰もが気軽に文化芸術に触れられる機会づくりの創出に努めます。

2.効果的な情報発信の不足

市内で開催されている文化芸術イベントや市ゆかりのアーティストについて、市民への認知が十分とはいえず、文化芸術に関する情報が十分に届いていないことが課題となっています。このため、効果的な情報発信により、市民が文化芸術と出会い、関心から参加へとつながる環境づくりが求められています。

施策① 子どもも大人も鑑賞・体験できる機会の創出

施策の内容

- ◆ 子どもから高齢者まで、誰もが身近な場所で文化芸術に触れ、鑑賞・体験できる機会を創出
- ◆ 地域における公民館や学校、公共空間等を活用し、多様な文化芸術活動に出会う場を充

実

- ◆ 新たな手法による文化芸術へのアクセス向上

主な取組

- 地域の商業施設や公共施設等において、誰もが気軽に参加できるコンサートや美術品の展示、ワークショップ等を実施します。
- 学校等と連携し、子供たちが文化芸術に触れるきっかけとなる鑑賞教室や体験講座等の機会を提供することで、鑑賞・体験機会の格差解消に努めます。
- 文化施設における企画事業の充実を図り、多様な文化芸術に親しむ機会を創出します。
- 鑑賞・体験の裾野を広げるため、デジタル技術を活用し、時間や場所にとらわれず文化芸術に触れられる機会の充実を図ります。

施策② 情報の見える化と周知の強化

施策の内容

- ◆ 市ゆかりのアーティストや市の文化芸術の促進・理解に繋げる文化情報をオンラインで一元管理
- ◆ 世代やニーズに応じた効果的な情報発信

主な取組

- アーティストバンク専用のウェブサイトを構築することで、文化施設やイベントなどの情報、市内で活動するアーティストや市ゆかりのアーティストなどの文化資源を一元的に発信するとともに、出演・展示・講座等の機会につなげます。
- 広報紙やウェブサイト、時代に即した SNS など多様な媒体を活用し、世代やニーズに応じた効果的な情報発信を行います。
- 文化芸術に関心がある人だけでなく、これまで文化芸術に触れる機会が少なかった人にも届くよう、公共施設、学校、地域団体等と連携した周知を進めます。

基本的な考え方(趣旨)

市民の誰もが、生涯を通じて文化芸術活動に取り組める環境を整備し、アーティストや個人、文化芸術団体の自主的な活動を支援する仕組みを構築していきます。

現状と課題

1.文化芸術活動の基盤整備が求められています

本市の文化芸術活動を取り巻く状況として、活動資金の援助や補助金制度の充実を求めるニーズが高く、気軽に参加できるイベントや体験機会の拡充を望む声も多く寄せられています。また、アーティストと地域をつなぐマッチング機能の創設など、文化芸術活動を行ううえでの基盤整備も期待されています。

施設面においては、文化施設の整備・充実へのニーズが高く、活動内容に応じた施設や発表の場の確保が課題となっています。美術館や音楽ホールの建設を求める声も多く寄せられています。

2. 次世代の育成と誰もが文化芸術に触れられる機会の充実

本市では、文化芸術を鑑賞したり、実際に活動したりする方は多くいる一方、文化芸術団体の高齢化や担い手不足が進んでいることから、子供たちを含む次世代に繋がる育成環境の整備が求められています。また、子どもから高齢者、障害のある方まで、誰もが文化芸術に触れられる機会の充実も必要となっています。

施策① 文化芸術の創造・発展につながる環境の整備

施策の内容

- ◆ 多様な文化芸術団体・個人による自主的な文化芸術活動の支援
- ◆ 文化芸術活動を継続的に実施できる環境の整備
- ◆ 文化芸術に係る公共施設の利便性の向上

主な取組

- 市内の施設等を活用し、日常の中で文化芸術に触れ、鑑賞できる機会を増やすことに努めるとともに、市民や文化芸術団体、アーティストが活動成果を発表できる機会の充実を図ります。
- 公演や展覧会等のイベント開催に係る費用等、市民や文化芸術団体の自主的な活動に対する支援を行います。
- アーティストと地域（市民）をマッチングし、文化芸術活動が地域に根付き、豊かに発展するよう支援します。
- 指定管理者制度の導入施設を含む文化芸術に係る公共施設の利便性の向上及び計画的に修繕や改修等を実施します。
- 将来的に市の文化施設を整備・再編する際など、様々な機会を捉え、立地や施設規模などの条件を踏まえながら、文化施設全体の在り方について検討を継続していきます。

施策② 次世代の育成・多様性の尊重

施策の内容

- ◆ 新たな担い手の育成・支援
- ◆ 子供たちが文化芸術に触れる機会の提供
- ◆ 年齢や障害の有無、国籍等に関わらず誰もが文化芸術を楽しめる環境づくり

主な取組

- 次世代を担う若手アーティストの文化芸術活動を支援します。
- 学校等と連携しながら、子供たちが本物の文化芸術に触れる機会を創出し、創造・表現活動への関心と意欲の向上を図ります。
- 年齢や障害の有無、国籍等の多様な背景を持つ人々が参加できる環境を整備し、世代や分野を超えた交流や協働の機会を創出することで、文化芸術活動の裾野の拡大と次代を担う人材の育成を推進します。

基本的な考え方(趣旨)

市ゆかりのアーティストの活動を支援したり、市所蔵作品、文化財等を展示したりすることで、市民が多様な文化芸術に触れ、船橋の文化・歴史に対する理解を深めるだけでなく、文化芸術を地域の他分野と掛け合わせることで、新たな価値を創造し、シビックプライドの醸成につなげます。

現状と課題

1.地域資源の活用による市の魅力向上が期待されています

船橋市の地域資源である市内イベントや市ゆかりのアーティスト、所蔵している美術品等の認知度が低いことが課題としてあげられます。そのため、市の魅力をさらに向上させ、シビックプライドを醸成させていくことが必要となっています。

※市民アンケートにおいて、50%を超える方が市ゆかりのアーティストを「知らない」と回答。

2.他分野との交流を求められています

文化芸術を鑑賞したり、活動したりするための方策として、市民アンケートの結果、20%を超える方が、文化芸術と他分野との連携を求めていることがわかりました。文化芸術により生み出される価値を他分野と連携して活かすことで、その効果が社会全体に波及し、より良い効果が期待されています。

施策① 地域の、音楽・アート・文化財等を通じた魅力の醸成

施策の内容

- ◆ 船橋ゆかりのアーティストの活動の場の創出
- ◆ 船橋ゆかりの美術品（絵画、写真等）や文化財等の保存・活用を通じた地域の魅力づくり
- ◆ 文化芸術活動の情報発信によるシビックプライドの醸成

主な取組

- 市主催のイベントにおいて、市ゆかりのアーティストと積極的に連携を行います。
- 船橋ゆかりのアーティストの作品を鑑賞できる機会や、歴史や文化財に親しむ講座、展示、見学会、まち歩き等を実施し、シビックプライドの醸成に努めます。
- 所蔵作品や文化財を適切に未来へ残すため、美術品の収蔵に係る仕組みや地域の文化財等の保全計画の策定に努めます。
- 所蔵作品や文化財に関する調査・研究を進め、その成果を、講座、展示、市史等を通じて市民に還元できるように努めます。

施策② 他分野と連携した施策の展開

施策の内容

- ◆ 福祉・経済などの他分野との連携

主な取組

- アーティストバンクの専用サイトを積極的に周知し、地域団体、学校、福祉関係者、経済関係者等とアーティストをつなぐことで、まちの魅力向上につながる取組を推進します。また、アーティストの活躍の場であるスポットについて、飲食店などの経済分野、病院・介護施設の福祉分野など様々な場所が登録されるように努めます。
- 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の趣旨を踏まえ、障害福祉分野と連携し、障害のある人の文化芸術活動の機会充実を図ります。
- 文化芸術を通じて、多文化交流・多文化共生を促進します。